



原小だより



学校教育目標

- ・心豊かな子
- ・たくましい子
- ・自ら学ぶ子

6月号

令和8年5月29日

さいたま市立原山小学校

「言葉は人をつくる」

校長 財部 幸樹

6月は、「いじめ撲滅強化月間」として、さいたま市立学校において、いじめの未然防止および早期発見・早期対応に向けた取組を重点的に進める期間となっております。

いじめは、子どもの心身の健全な成長に重大な影響を及ぼす行為であり、いかなる理由があっても決して許されるものではありません。また、いじめは、特定の子どもや場面に限って生じるものではなく、日常生活の中の何気ない言動や人間関係の行き違いを契機として生じることも少なくありません。そのため、本校では「いじめはどの子にも起こり得る」という認識のもと、組織的かつ継続的に対応していくことが重要であると考えております。



学校は、いじめを見逃さない、いじめを許さないという強い姿勢のもと、すべての子どもが安心して学校生活を送ることができるよう、引き続き全力で取り組んでまいります。

子どもたちの成長過程において、「言葉」は大きな影響力を持ちます。棋士の羽生 善治さんの言葉「言葉は人をつくる、だからこそ、口にする言葉は大切に」というものがあります。自分から発する言葉や態度は、自己肯定感や他者への関わり方に大きく関与すると考えます。本校では日々の教育活動の中で、「心を潤す4つの言葉」「心を元気にする4つの言葉」を中心に、相手の立場や気持ちを考えた言動の大切さを子どもたちに伝え、互いを尊重し合う人間関係づくりを進めてまいります。

なお、子どもの変化にいち早く気付くためには、学校と家庭との連携が不可欠です。ご家庭におかれましても、お子さんの日常の様子に目を向けていただき、気になることがありましたら、些細なことでも学校へお知らせいただければ幸いです。保護者の皆様のご理解とご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。

心を潤す4つの言葉

- ・おはようございます
- ・ごめんなさい
- ・ありがとうございます
- ・はい

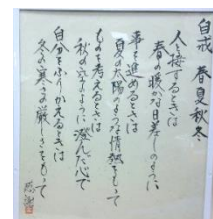
心を元気にする4つの言葉

- ・大丈夫
- ・ちょっとずつでいいよ
- ・自分を信じて
- ・また明日

5月から5時間授業が始まった1年生。少し疲れているかな。でも、下校するときステキな笑顔で「さようなら。また明日」と言って、手を振って帰っていきます。今年度も、原山小学校のスローガン「みんな友達 えがおの原小」が、子どもたちの姿に表れていることを感じ、私も思わず笑顔で手を振り返します。「また明日も、みんな学校を楽しもうね。」

自戒「春夏秋冬」(出典不明)

- 春…人と接するとき、春の暖かな日差しのように
- 夏…事を進めるときは、夏の太陽のような情熱をもって
- 秋…ものを考えるときは、秋の空のように澄んだ心で
- 冬…自分をふりかえるときは、冬の寒さの厳しさをもって



運動会という大きな目標を達成し、次の目標を立て新たに努力していく時期。腰を据えて学習や運動に、一生懸命取り組みたい「6月」。事を進める時は、夏の太陽のような情熱をもって。